

中落合1丁目地区まちづくりニュース 第1号

平成17年(2005年)11月

編集・発行:中落合1丁目地区まちづくり協議会

まちづくり協議会活動中!

■まちづくり協議会にご参加ください

まちづくり協議会は、中落合1丁目地区を対象として、今後どんなまちづくりをしていくかなどを話し合い、多くの住民の賛同のもとにまちづくりの構想やルールをつくることを目的にしています。

本年3月に発足以来、月1回程度の定例会を開催し、地区住民と区が協力し合って活動しています。7月にはまちの問題や課題を具体的に点検するため「まち歩き」を実施しました。その後、「まち歩き」の結果をもとに、まちづくりの課題や方向性について検討しています。

まちづくり協議会は、いつでもどなたでも入会できます。是非ご参加ください。

■まちづくりの方向性を中間的にまとめました

現在話し合っている内容には、検討課題が明らかになった段階のもの(住宅地と幹線道路沿道それぞれの建物のルールなど)や、更にまちづくりの方向性がまとまりつつあるものもあります。

協議会では、この段階で地区住民の皆様にご報告し、広く意見を求めることにしました。2~3面に掲載した内容について是非ご意見をお寄せください。なおいただいたご意見は、今後のまちづくりに活用していきたいと思っております。

ご意見をお寄せ
ください

- まちづくり協議会への参加希望およびまちづくりについてのご意見は、下記の協議会事務局まで、FAX、メール等でお寄せください。



まち歩き(平成17年7月23日)

連絡・問い合わせ先: 中落合1丁目地区まちづくり協議会事務局

(新宿区都市計画部地区計画課(担当:小川、相澤) 〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1)

Tel.03-5273-3843(直通) FAX03-3209-9227 e-mail: chikukeikaku@city.shinjuku.tokyo.jp

中落合1丁目のまちづくりはこんな方向で（中間報告）

まちづくり協議会では、本年7月23日にまちを点検する「まち歩き」をしました。その結果をもとにこれまでに話し合ってきた内容を、以下にまとめました。協議会内部で話し合っている途中経過をまとめたものですが、「これからこんな方向で検討したい」など取り組みの方向性も含めて、まちづくりの方向が見えてきたものもあります。ぜひご意見をお寄せください。

坂道

【現状】

- 1) 道幅が狭く、消防車の進入困難など防災上の心配がある
- 2) 狭さ見通しの悪さ、冬季の凍結等歩行者の安全性に問題
- 3) 坂と坂を繋ぐ道がなく、交通利便、防災面(避難)で問題

【まちづくりの方向案】

- ①坂道をだれもが安全で快適に行き来できるようにしたい
(ひと休み広場、必要な箇所への手すりの設置、エレベーターの開放等)
- ②いざという場合の避難路を明確にしたい。

遊歩道・広場

【現状】

- 1) 妙正寺川沿いの道は、歩いて気持ちの良いみち。西武線で途切れているのが残念。
- 2) 沿道に高いブロック塀等もあり地震の際等の心配がある。
- 3) 地区全体として広場が足りない。

【まちづくりの方向案】

- ①地域の重要な歩行者道路として位置づけ、緑化、防災・防犯などの安全対策、西武線の分断の解消などにより、学生や子どもの安全な通学路、お年寄りの散歩コースとしても活用したい。
・西武線で遊歩道が途切れていることをどう解消するかなど調査が必要(トンネル化、迂回路整備等)。
・沿道ブロック塀の生け垣化等、防災・防犯の面からの安全対策が必要。
- ②広場・公園をつくりたい(例えば駅前と坂上の住宅地)。
- ③ちょっとした空き地に花壇をつくるなど、花いっぱいのもちづくりを進めたい。

地区内の主要な道路

【現状】

- 1) 「旧富士銀通り」:
・道幅が狭いわりに抜け道として交通量が多く、歩行者が安心して歩けない。
・新目白通り入口部分が、電柱が邪魔して狭くなっており、そのために渋滞する。
- 2) 「山手通りと旧富士銀通りをつなぐ道路」:
・道幅は狭いが、沿道の建物・店の雰囲気などが良い。

【まちづくりの方向案】

- ①「旧富士銀通り」: 通過交通対策と歩行者の安全を確保できる空間づくり。当面は、対面通行のまま、交通ネットワークとなっている新目白通りからの入口の電柱移設を実行する方向か。
・自動車の時間規制は不便だし、わかりにくい。一方通行にすると、地区内から車で外部に出る際にたいへん不便。また、かえって脇道に車がどんどん入り込む恐れがある。
- ②「山手通りと旧富士銀通りをつなぐ道路」: 道全体としての雰囲気の良い環境づくり等を進めたい。
- ③地区内の道路全体として、不要な段差や傾斜の解消を進めたい。
- ④通学路を整備したい。

幹線道路沿いの空間

【現状】

- 1) 新目白通り: 歩道の雰囲気が荒れている、自転車と歩行者の混在による危険がある。
- 2) 山手通り: 幹線沿道の建物の高さ規制と内部の住宅地の環境との関係、山手通りと地区内の道路との関係をどうつくっていくかが課題。

【まちづくりの方向案】

- ①新目白通りの歩道: 歩行者の安全確保、自転車と歩行者の共存の方法を検討する。
・清風園周辺の道路の段差や傾斜、坂道と歩道との交点のカーブミラー等は早急に改善する。
- ②山手通り沿道: 幹線沿道と内部の住宅地の環境を区別して、建物の建て方のルールを今後検討していく。また、地区内の道路との接続の仕方(通過交通が入り込まない安全な地区内道路づくり等)も検討していく。
・幹線道路沿いの高い建物は、住宅地内部にとって騒音の遮断、火災の延焼防止にもなる。
・幹線沿道の建物の高さの規制は、高さを道路面から測るなど、落合らしい環境への配慮が必要。

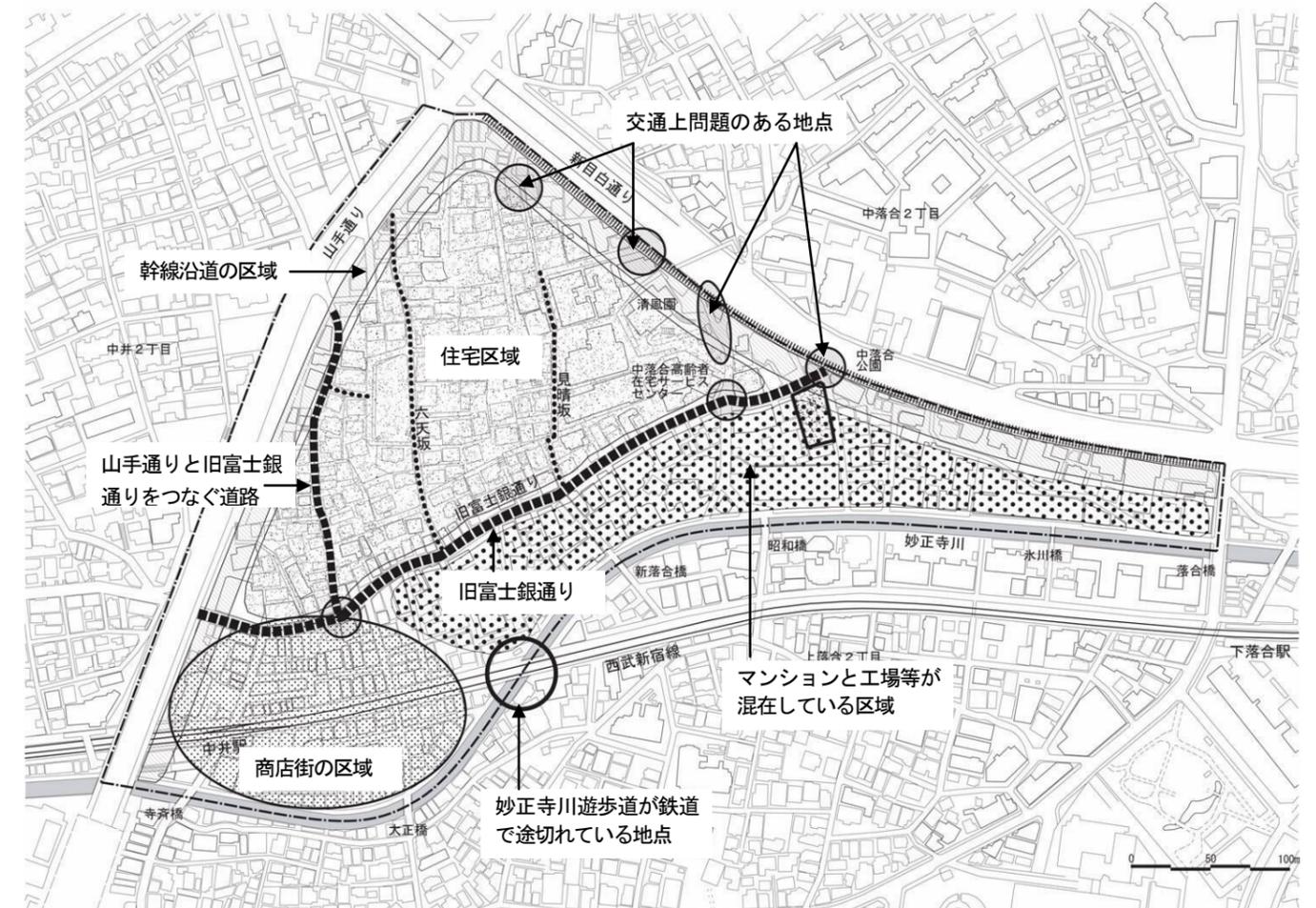
住宅地の環境(主として坂上の住宅地について)

【現状】

- 1) 緑の多い戸建て住宅地であるが、マンションが増えて徐々に環境が変わりつつある。
- 2) 道の狭さ、電柱の張り出しなど消防車等が進入しにくい道路が多い。坂と坂を結ぶ道がない、危険なブロック塀が多いなど、防災的な問題がある。
- 3) マンション建設が増え、緑が減少したなど環境的な問題がある。

【まちづくりの方向案】

- ①住宅地としての将来像を確立する(戸建て住宅とマンション、緑化のあり方など)
・まわりが低層建物の区域では高い建物を建てないなど、周辺の環境にあった建て方について、ルールづくりを検討していく。
- ②総合的な防災まちづくりを進めたい。



商店街

【まちづくりの方向案】

- ①駅前や川沿いに人が集まれる場所を
- ②ある程度まとまった商店の共同の建替えを
 - ・空き店舗を活用して、チャレンジショップ、休憩所などを。
 - ・健康ウォークマップ、文化人マップなどをつくって、人々が集まるまちに。

防災・防犯（地区全体として）

【現状】

- 1)地区全体として地震時に危険なブロック塀がある。
- 2)防犯についても不安である。

【まちづくりの方向案】

- ①危険なブロック塀の解消、改善を進めたい（避難時の安全）。
- ②消防車等の緊急車が進入できるよう、道路空間を確保したい。
- ③犯罪がおこりにくい環境づくりを進めたい（物陰などまちの死角をなくす、夜間照明を充実する等）。

中落合1丁目地区まちづくり協議会 ～協議会の概要とこれから～

●平成17年3月、まちづくり協議会発足

中落合1丁目地区のまちづくりは、平成15年11月に町会によるアンケート調査の実施など地区住民の方々の取り組みをふまえ、平成17年1月、全戸配布の広報紙によって新宿区から皆様に呼びかけてはじまりました。

町会・商工会関係者のほか多様な住民約30人の方々が集まり、3月に「中落合1丁目地区まちづくり協議会」として正式に発足しました。事務局は新宿区地区計画課が担い、住民と区が協力し合う体制で進めています。会長・副会長はこれから選出する予定となっておりますが、当面は「運営委員」数名と事務局の話し合いによって運営されています。

●まちづくりの構想やルールづくりを目指しています

まちづくり協議会は、中落合1丁目の区域を対象として、まちの問題点やより良くしたい点などを明確にしつつまちの将来像を描いたまちづくり構想、またそれを実現するためのまちづくりのルール（これからの建築物の建て方のルールなど）をつくっていく予定です。

●多くの方々の参加、意見の反映が大切です

まちづくり協議会は、中落合1丁目地区に関係する方なら**どなたでも入会できます**。今後、まちづくりの検討が進むにしたがって、多くの方々の意見の反映が大切となります。このようなニュース等によって適宜情報をお知らせする予定ですが、皆様の積極的な参加をお待ちしています。